



# 会報



ほたる狩り

DISTRICT 253  
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

## 鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール  
例会日 毎週火曜日 12:30-13:30  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内  
電話 0235 (2) 5775

会長 上野三郎  
幹事 佐藤順治

全人類を 結びつけるために 奉仕せよ  
SERVE TO UNITE MANKIND

W. ジャック・デービス

1977~78 国際ロータリー会長

第 922 号

1977. 8. 30 (火) (はれ)

No.9

### JAPAN 本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (手に手つないで)
3. ビジター・ゲスト紹介
4. 会長報告
5. 幹事報告
6. 委員会報告
 

R.A.C. 会員増強について	R.A.C. 委員長 吉野 勲 君
パンフレット配布	
5周年記念行事について	R.A.C. 会長 斎藤政成 君
第2回市民シンポジウム参加の呼びかけ	社会奉仕委員長 板垣広志 君
7. ゲストスピーチ
 

国会あれこれ	衆議院議員 加藤紘一 氏
--------	--------------
8. 出席報告
 

	出席委員長 石川寿男 君
--	--------------

## ■ ビジター・ゲスト紹介

岡本悦衛君（喫煙具製造販売）	東京王子R.C
佐藤五右工門君（建設）	温海R.C
羽根田正吉君（建設）	
八幡慶二君（建築）	} 鶴岡西R.C
原田行雄君（遠洋漁業）	
加藤広君（電気工事）	
五十嵐喜美雄君（商業報行）	

## ■ 会長報告

さきに鶴陵L.Cと台中市東区L.Cとの盟約締結に当って、当クラブより祝賀メッセージをおくりましたが、先日、鶴陵L.Cの丸山秋彦会長が来訪され、これに対する丁寧なお礼の挨拶がありました。

## ■ 幹事報告

1. 会報到着  
(イ) 台中港区扶輪社  
(ロ) 酒田R.C
2. 9月6日の定例理事会は都合により  
9月13日（火）に変更致します。

## ■ 委員会報告

### 第2回 市民シンポジウム

皆んなで語ろう我が郷土 社会奉仕委員長 板垣広志君

日時 9月4日（日） P.M 12:30～16:00

場所 鶴岡市青年センター講堂

パネラー（回答者）鶴岡市長 議長 各部長

アドバイザー（助言者）加藤紘一 衆議院議員

内容

第2回目を迎え、今年はより身近な市民の要望を市へ直接的に反映出来ることを期待して、昨年の対話集会より得た若干の問題点をひろい上げ、我々青年会議所は皆様方への提言といたします。

- 1) Uターン人口の受入れ対策（優秀な人材の転出を防ぐ）
- 2) 商圏拡大に対処する当地の施策と大型店進出の功罪及び対応策
- 3) 商店街の駐車場、アーケード設置、緑化対策といった問題点解決のための行政、商業者、消費者という三者間の話し合いの場の早期設定。
- 4) 交通問題  
(イ) 「第3いなほ」の実現見通し

- (ロ) 112号線早期完成の施策
- (ハ) 県都と鶴岡との交通連絡の不備（月山1号下り）
- 5) 都市計画総合プラン青写真の今後の動向
- 6) 単作農業見直しとその方法
- 7) 観光問題への総合的開発の進展のための具体的施策

## ■ ゲストスピーチ

国会あれこれ

衆議院議員 加藤 紘一 氏

現在政府の景気対策は大変苦しんでおる。輸出は強力な圧力がかかり、内は先行不安のため貯蓄性が高まり需要の伸びが少なく、これに対応する政府の考えはまとまっていない。

これからは失業の時代が（特に45才以上）来る。地方にUターン現象が再現されつつあり、これからは地方で働く場所を与える事、又企業内で地方にもエリート社員の分配定着化問題が出ておる。

日本の保・革労資はバランスがとれていると云う事はお互にきびしい世の中である事を認識しておる。ロンドン会議でカータ人気は最高で日本は4番目位である。何故カータが人気あるかと云うと、英国の分家であるという事、又国民に云ってならない事を率直に判りやすく国民に伝えている事で、日本では判っていても云えない。経済のエネルギー消費とGNP関係についてしっかりしたリーダーシップの考えがとれていない。日本は官僚が政策問題をやり、議会がその下請企業的な役割であり現在の官僚自らも将来のビジョン政策を立案出来ぬ状態である。将来政界がその構造の本質を見極めて政策決定能力をもつ様にこれから頑張って行きたいと思います。

8月13日朝日新聞に「10年後の実力者たち」の加藤紘一氏の記事を掲載致しました。

### 野党に甘えがある

〈自民党の政治に、自信を持ちますか〉

世間で見ると自民党は、悩んで苦勞している。共産党は政治のあるべき姿を客観的に研究しているように見えるが、やはり政権の座にないために、甘えがある。むろん他の野党も同じ。そのことが、彼らの質の向上ができないことにつながっている。

〈10年度の政界の姿をどう予測しますか〉

再編成されているでしょう。人間の面でいえば、いまの自民党を中心とした幅広い連立政権。民間労組の経営参加が法制化されて実現し、その勢力プラス自民党の連立体制、性格的には保守政権です。官公労組を背景とした社会党の左と共産党は、批判グループとしては存在するが、やはり政権参加はできないでしょう。

〈そこまでの過程で政治が直面する課題は、何だと思えますか〉

日本が、これまで一貫して追求してきた欧米諸国への「追いつき、追いこせ」主義から日本の伝統と近代合理性を調和させた生き方を見つけることだ、と思う。ジャパニーズ・ウエー・オブ・ライフをさぐっていくことです。具体的な課題としては、地方分権の確立、高齢化社会の家族制度のあり方、それにエネルギー問題の解決—の三つだと考えます。それらを勉強していきたい。いまは勉強、それと選挙に強くなることだけ…。

〈政界で影響力を持つには、政策の勉強だけでは足りない、といいますね〉

そうですが、この若さで政治という重要な仕事をしていることで満足しているすぐれた指導者と一緒にやっていくことが喜びです。だから河野洋平さんらが（自民党を）出ていったときは、とても腹が立った。

〈すぐれた指導者とは？〉

感化を受けたのは、大平（正芳）さんの、人間の限界を考えながら政治をやる哲学。渡辺美智雄（厚相）さんの近代的な緻密（ちみつ）さと八方破れのドロ臭さ。亡くなった湊徹郎さんの農政にかけた誠実な勉強ぶり。そういったものです。

### 国民の意識は高い

〈いま、政治にとって必要なのは何だと思いますか〉

参院選で国民は抜群の判断力を見せた。国民の政治意識の高さを過小評価しているのは、政党とマスコミでしょう。もっと国民を信頼していい。

〈もっと、いいにくいこともいう？〉

そう、人気取り的なことをいっても国民は見すかしてしまう。大胆率直に本音をいって、やりたいことをやってもいい。三木さんは「不人気なこともやる」といったけど、やったことは、全部その反対だった。福田さんも、あと一年ちょっとなんだから、やりたいことをバリバリやれば、いいのになあ。

## 出席報告

本日の出席	会 員 数	70名	欠	阿部(公)君、三井徹君、中江君、斎藤(栄)君、佐藤(忠)君、佐藤(正)君、笹原君、津田君、藪田君
	出 席 数	61名	席	
	出 席 率	87.14%	者	

前回の出席	前回出席率	75.71%	メ	飯白君一八幡R.C 笹原君、藪田君一仙台R.C 阿部(公)君、五十嵐(三)君、板垣(俊)君、黒谷君、森田君、角田君、中野(重)君、中野(清)君、鷲田君、丹下君一鶴岡西R.C
	修正出席数	66名	ッ	
	確定出席率	94.29%	ク	